

漁業を守る施策は

的確な対応に努める



山崎 泰昌 議員
(政 和 会)

問 岩手の漁協は小さな漁村単位で形成されている。国は集約化を望んでいるが町としての対応は。

甲斐谷副町長 他の事例を見れば、簡単には一般企業の受け入れはできない。地元の漁業者、漁協、県漁連の意見を聞きながら、行政として今後の漁業の発展について考えていきたい。

問 アワビ放流事業は有意義な事業であるが、稚貝をもっと成長させてから放流してはどうか。

甲斐谷副町長 大きくして放流すれば収穫は上がるが、効率の問題があり、専門家の意見を聞いた上で、調査、検討をしたい。

問 少しの事例でも、検討する事や対応しなければならぬ事が多い。水産業を支援するために水産課を復活させては。

佐藤町長 復興完遂後を見据えた行政組織の見直しは必要であり、町の活性化推進や社会経済情勢の変化に対応するための機構改革については、今後検討していく。

問 水産労働人口確保のため、町が外国人労働者を受け入れ団体との窓口になつて漁協や個人業者にあつせんする体制はつくれないか。

鈴木副町長 外国人労働者の受け入れについては制度上のこともあり、現時点ではお答えできない。

鯨館周辺の土地活用を

公園機能の増進となれば可能

問 鯨と海の科学館も完成し公園も整備された。利用客を増やすため飲食店や商業施設等が建てられるよう要望しては。

町長 都市公園内の機能の増進に資すると認められる場合などは飲食店および売店などの設置ができることとなっている。

町内駅舎の今後は

現在協議、検討中

問 船越、豊間根駅は放置されたままで外観も美しいとは言えないが。

町長 JR東日本から譲渡される見込みであり、現況を確認し、必要に応じた修繕などを行う。

問 整備するに当たり、両駅ともトイレの新設を要望するが。

甲斐谷復興企画課長 駅、観光客あるいは地域、どの扱いにするかでさまざまな考え方がなる。観光を進めていく中で、トイレがないのはどうかと思う部分もあるが、造つた後の管理などの検討も必要であり、町全体の中で検討すべきものと捉えている。

問 山田駅への入場は片側だけだと不便だと考えるが、対応は。

復興企画課長 東西から入場できるように進めている。

問 二線橋が高く、高齢者や体の不自由な方が大変だと考えるが。

町長 今後、ホームとホームを結ぶスロープの設置について国交省東北運輸局と協議を進める。



31年3月供用開始の山田駅